

🕒 10秒で分かる！渡辺市議の一般質問



渡辺 かほ

- 1 子どもたちが身近な場所で、
継続して運動できる環境づく
りを提案。
- 2 発達支援と保育の充実
で、それぞれの育ちを支え
る体制づくりを推進。
- 3 幼児期から青年期まで、安
心して子育てできるまちづ
くりを目指します。



✔️「育ち」を切れ目なく支え、安心して子育てできる弘前へ。

1.児童の運動機会の充実について



子どもたちが身近な場所で継続し
て運動できる環境づくりについて
質問しました。

質問・概要

近年、スポーツ少年
団の減少や保護者の
負担増加により、運
動機会が限られる子
どもが増えていま
す。誰もが気軽に体
を動かせる環境づく
りについて

◆課題

- ・子どもの運動機会
の確保
- ・保護者の送迎・費
用負担
- ・地域で気軽に参加
できる運動環境

市の回答

教育委員会と連携し、
児童館に加えて「なか
よし会」でのスポーツ
教室開催についても検
討し、子どもたちの運
動機会の充実に取り組
む方針が示されまし
た。



意見・提案

家庭環境に左右され
ることなく、すべて
の子どもが運動を楽
しめる環境づくりが
重要です。地域の既
存施設を活用しなが
ら、継続して参加で
きる仕組みを整え、
子どもの健やかな成
長につなげることを
提案しました。

2.子どもの発達支援について



早期発見・早期支援だけでなく、保
育全体の質を高めることで、すべて
の子どもの育ちを支える体制につい
て質問しました。

質問・概要

発達に特性のある
子どもだけでは
なく、すべての
子どもが安心
して成長できる
よう、療育の視
点を通常保育に
も取り入れた支
援体制について

◆課題

- ・早期発見・早
期支援
- ・保育士への研
修・DX推進

市の回答

巡回支援や保育士
研修を充実させる
とともに、保育現
場のDXを進めなが
ら、発達支援と保
育の質の向上に取
り組む方針が示さ
れました。



意見・提案

特別な支援だけ
ではなく、日常の保
育そのものが子ど
もの育ちを支える
環境となるよう、
保育士への継続的
な支援や専門職と
の連携を強化し、
一人ひとりに寄り
添う保育体制づく
りを提案しまし
た。

3.子育て支援に関わるビジョン



幼児期から青年期まで切れ目
なく支え、安心して子育てで
きるまちづくりについて、市
の将来ビジョンを質問。

質問・概要

子育て世帯が安
心して暮らし続
けられるよう、
保育・教育・経
済的支援を含め
た総合的な子育
て施策について

◆課題

- ・子育て支援の
充実
- ・保育料負担の
軽減
- ・居場所づくり

市の回答

弘前に住んで良か
ったと実感できる子育
てのまちを目指し、
・0～2歳児保育料
の完全無償化
・副食費支援
・認可外保育施設へ
の助成
・ひとり親世帯への
給付金
・こども誰でも通園
制度
など子育て世帯を支
える施策方針の提示

意見・提案

子育て支援は、単
独の制度ではな
く、子どもの成長
段階に応じて切れ
目なく支えること
が大切です。現場
の声を丁寧に反映
しながら、子ども
も保護者も安心し
て暮らせるまちづ
くりを着実に進め
ることを提案しま
した。

📝 一口メモ

谷川新市長になって初の弘前市議会定例会



- 選挙公約の一つ、子育て支援の拡充により

「保育料の完全無償化」実現

※副食費助成にも踏み込んだ支援も併せて実施。

➡ 宮下青森県政とも連携した
「子ども子育て青森モデル」
実現に向けた大きな一歩。



➡ 弘前さくら未来としても
未来志向の大切な予算で
あると考え、賛成しました。



困りごと・ご意見等、お気軽にご連絡ください。

成田だいすけ

☎ 090-2026-6612



工藤ゆうすけ

☎ 080-1672-8981



工藤みつし

☎ 090-2020-0600



竹内ひろゆき

☎ 090-5835-6364

樋川あつこ

☎ 0172-27-5761

渡辺 かほ

☎ 080-4504-6020

弘前さくら未来
会派レポート
市民の **声** を、市政の **力** へ。

Vol. 12
2026.8.1 発行

未来は、
対話 から。
*
行動で、
形 に。

←防衛省にて。
弘前市議会議員有志による防衛議員連盟とし
て、陸上自衛隊弘前駐屯地の戦略的体制強化
に関する要望に。7月31日撮影

私たちは、現場 から動き、 未来 を作ります

私たち弘前さくら未来は、皆さまの声に
耳を傾け、現場を歩き、課題を整理し、
政策を提案します。
そして、議会での議論を通じて、
一つひとつ実現につなげていきます。

弘前の未来が、もっと明るく、
もっと住みよいまちになるよう、
これからも全力で取り組みます。

私たちの活動の流れ

次回 会派報告会のご案内

議会での活動や市政の課題、これからの弘前の未来について
皆さまと直接お話しできる場を設けます。ぜひご参加ください！

日時： 2026年 8月17日 (月) 18:00～

会場： 西交流センター（弘前市城西4丁目）

テーマ： 谷川新市長になり、初の市議会について

最新情報はこちらから！
弘前さくら未来
Facebookページ

※会派レポートは弘前市議会議会政務活動費の交付に関する条例第5条の規定に基づいて作成しています



10秒で分かる！成田市議の一般質問



- 1 岩木・相馬地区の魅力をつなぎ、通過する観光地から滞在する観光地へ！
- 2 会計年度任用職員が安心して働き続けられる環境づくりを！
- 3 子ども一人ひとりが自分らしく学べる教育と、教職員の働きやすさを！



✓ 地域・人・子どもの未来を育てる3つの提案。

1.岩木・相馬地区の観光振興について



岩木・相馬地区の多くの魅力で、地域全体で稼ぐ観光へと進化させるため、展望を質問しました。

質問・概要

民間団体や有志によるイベントは多いが、市としての今後の観光振興の展望を聞きたい。
◆課題
・通過型の観光が多い
・周遊が不足
・宿泊・体験のコンテンツ不足
・地域経済への波及が限定的

市の回答

個々の資源を点ではなく面で結び、「滞在して楽しめる観光地」として育てていく必要がある。
自然・文化・アクティビティの3要素のうち2つ以上を組み合わせた「アドベンチャーツーリズム」を推進。冬季のスノーアクティビティにもつなげ、滞在を楽しめる観光地を目指していく。

意見・提案

地域全体を周遊できる仕組みを整え、地域のお店や宿泊施設を利用してもらい、滞在時間を延ばし地域経済を活性化。
さらに、体験型観光や外国人観光客の受け入れ、情報発信の強化、インフラ整備への支援を進めるべき。

2.会計年度任用職員について



多くの会計年度任用職員が市民サービスを支えています。人材確保・待遇改善の取組を質問しました。

質問・概要

国の制度運用の見直しに伴い、今後どのように取り組んでいくのか。
◆課題
・人材確保が難しい
・経験者が定着しにくい
・専門職不足
・待遇改善が必要

市の回答

市民サービスを守るためには、働き人が安心して力を発揮できる環境づくりが欠かせない。
給与や休暇制度の改善を進めたいが、採用制度については引き続き検討していく。

意見・提案

経験を積んだ人が安心して働き続けられる仕組みが必要。
特に専門性の高い職種では人材確保が難しくなっているため、給与・休暇制度の改善だけでなく、長く働き続けられる制度が必要である。

3.教育行政について



新しい教育長の就任を受け、教育環境の整備や教育への思いについて、今後の展望を質問しました。

質問・概要

新教育長の3つの基本姿勢や、教育行政の今後の方向性について質問。
◆課題
・多様な学びへの対応
・教職員の負担
・不登校支援
・教育環境の充実

市の回答

子どもの声に耳を傾け、一人ひとりの個性を大切に教育。教員が意欲とやりがいを持てる環境。子どもたちが意欲をもって学べる教育を推進。既存の教育から転換し、多様な学びを保障していく。

意見・提案

義務教育を保障し、子どもたちが自分らしく学び、安心して成長できる環境を整えることが重要。
現場の声を大切にしながら、未来を支える教育を推進していただきたい。



10秒で分かる！竹内市議の一般質問



- 1 中心市街地への投資を促進し、稼げるまちづくりを推進していきたい
- 2 AI・DXを活用し、市役所改革と市民サービスの向上を提案
- 3 分かりやすく伝わる情報発信で、市民との信頼づくりを目指す



✓ まちを変える。市役所を変える。伝え方を変える。

1.賑わいから稼げるまちへの転換



挑戦し、稼げるまちを実現するための中心市街地活性化について、展望を質問しました。

質問・概要

中心市街地活性化をイベント中心ではなく、民間投資や雇用、税収につながる都市経営として進めるため、第3期中心市街地活性化基本計画の実効性について
◆課題
・民間投資呼び込む仕組み
・エリアごとの役割整理

市の回答

市長は中心市街地の活力低下を重要課題と位置付け、不均一課税制度など投資促進策を検討するとともに、補正予算も活用しながらスピード感を持って取り組む考えを示しました。



意見・提案

駅前・大町、土手町、弘前公園周辺それぞれの特色を活かした投資戦略を提案。
また、歴史的建造物の柔軟な利活用や、行政が民間事業者に伴走する体制づくりを求めました。

2.AI・DXによる行政の進化



AI・DXによる変革と市役所改革について取組を質問しました。

質問・概要

AIやDXを人口減少・職員不足に対応するための業務改革・組織改革と位置づけ、市役所全体で推進する体制について質問。
◆課題
・AI・DX推進体制
・業務・組織改革
・人材育成

市の回答

「書かない・待たない窓口」の実現を目指し、AIやデジタル技術を活用。
副市長を中心とした推進体制で、市民サービス向上を進める考えが示されました。

意見・提案

DX推進委員会を実際に機能させ、企画・人事・財政を横断する司令塔組織の構築を提案。
AIを活用できる職員育成や民間との連携強化も求めました。



3.伝わる広報が信頼をつくる



分かりやすく届けられる市民目線の情報発信について、今後の展望を質問しました。

質問・概要

市民が探す広報ではなく、必要な情報を分かりやすく届ける広報への転換について質問。
◆課題
・市民目線の広報
・分かりやすい情報発信
・動画・SNS活用

市の回答

情報の正確性と発信のタイミングを重視しながら、多様な媒体を活用して市民に公平に届ける方針が示されました。
図表やイラストなども活用しながら、様々な媒体で市民へ分かりやすく情報を届ける方針が示されました。



10秒で分かる！工藤市議の一般質問



- 1 EVバスの安全性や維持管理体制を確認し、持続可能な公共交通について議論
- 2 子育て世代の声を反映した、安心して遊べる全天候型施設の整備を！
- 3 農泊を活用した交流人口の拡大と、地域全体で観光を支える仕組みづくりを！



✓ 未来へつながる交通・子育て・地域資源の3つの視点

1.ゼロカーボン・電気バスについて



環境にやさしく、安心して利用できる公共交通などへの展望を質問しました。

質問・概要

ゼロカーボンの取組として導入されたEVバスについて、冬季の運行状況や安全性に加え、メーカーの民事再生手続きによる今後の維持管理や運行への影響は？
◆課題
・冬季の運行性能・安全性
・車両メンテナンス体制
・市民の交通手段の維持

市の回答

弘南バスと連携しながら、メーカーの民事再生手続きの状況を注視し、市民の足となる公共交通の安心・安全な運行に努めていきます。



意見・提案

環境性能だけでなく、災害時や冬期間でも安心して利用できる公共交通であることが重要。
今後も運行状況を継続的に検証し、利用者目線で安全性と維持管理体制を確認していく必要があります。

2.子どもたちの遊び場について



天候を気にせず、子どもたちが思いきり遊べる弘前を目指した取組を質問しました。

質問・概要

冬の降雪や夏の猛暑でも利用できる全天候型キッズパークについて、整備計画や施設機能は？
◆課題
・天候に左右される遊び場
・子育て世代のニーズ
・施設規模・整備計画

市の回答

他自治体の事例を参考にしながら、子育て世代との対話を重ね、ニーズを把握した上で整備に向けて検討を進めます。



意見・提案

市民の声を丁寧に反映し、子どもたちが安心して遊び、運動できる拠点づくりを着実に進めるべきです。
将来を見据え、子育て世代に選ばれるまちづくりにつなげることが重要です。

3.農泊の推進について



地域の魅力を活かし、人と地域をつなぐ農泊へ、今後の展望を質問しました。

質問・概要

修学旅行などで需要が高まる農泊について、地域全体で受け入れる体制づくりを質問。
◆課題
・受入家庭不足
・人材育成
・地域連携
・情報発信不足

市の回答

受け入れ先の確保や人材育成を進め、DMOとの連携も含めながら、地域内外への情報発信を充実させ、関係団体と協力して取り組みます。



意見・提案

農泊は宿泊事業だけではなく、交流人口の拡大や地域経済の活性化につながる重要な取組です。
広域連携やDMOを積極的に活用し、地域全体で受け入れる仕組みづくりを進めるべきです。



10秒で分かる！樋川市議の一般質問



- 1 若者の地域への愛着を、まちづくりへの参加と市政への提案につなげます。
- 2 子どもの「好き・得意」を伸ばす新しい弘前の教育方針づくりを進めます
- 3 教員の負担軽減と部活動の地域展開を進め、持続可能な教育環境を目指します。



✓ 数字と現場の実態から、子どもと地域の未来を前へ

1.シビックプライドの醸成について



地域への愛着から若者がまちづくりに参加しその声を市政に届けられる仕組みについて質問しました

質問・概要

地域課題を自分ごととして考える当事者意識につなげるため、若者が主体的にまちづくりに参加できる環境を整えていく方向性を共有しました。
◆課題
・若者の地域参加
・市政へ声を届ける仕組み
・地域への愛着と当事者意識
・時代の担い手育成

市の回答

市長と、地域への愛着を市民の主体的な行動へつなげ、特に若い世代がまちづくりに参画できる環境を整えていく方向性を共有しました。
若者の意見を把握し、市政や地域の取組へ反映する機会を広げていく考えが示されました。

意見・提案

シビックプライドは、市民が地域に関わり、自分の行動によってまちが変わっていくと実感することで育めます。
若者との対話の場を継続的に設け、提案された意見について、市がどのように検討し、政策へ反映したのかを見える形で伝える仕組みが必要です。

2.新教育長の教育理念について



新教育長が掲げる、子ども・学校・市民が共有できる新たな教育方針について質問しました。

質問・概要

教育現場の実態を踏まえた現場主義、限られた人員と時間を有効に活用するためのやらないことを決める改革、子ども一人ひとりの好き・得意を伸ばす教育を基本姿勢として進める考えが示されました。

市の回答

新教育長からは、教育現場の声を重視する現場主義・業務を見直しやらないことを決める姿勢
・子どもの「好き・得意」を伸ばす教育を基本姿勢として進める考えが示されました。

意見・提案

教育方針は、理念を掲げるだけでなく、学校の日々の教育活動や教職員の働き方に反映されることが重要。
策定に当たっては教職員だけでなく子どもや保護者の声も丁寧に聞き、誰にでも分かりやすい言葉で示す必要があります。

3.教員不足・働き方改革について



教員不足が深刻化する中、学校業務の見直しと部活動の地域展開を進め、教員が教育に専念できる環境を確認

質問・概要

教員の未配置や特別支援学級の増加など、教育現場が抱える人員不足の実態の確認。
あわせて、休日の部活動を地域全体で子どもの活動を支える「地域展開」への移行について確認しました。

市の回答

教員の負担軽減に向けて、板書計画の提出廃止、学校訪問の見直し、アンケートの電子化、など、具体的な業務改善を進める方針が示されました。
また、あわせて教員が休日部活動に従事しない体制を目指し、地域クラブ整備を加速します。

意見・提案

教員の負担軽減は、不要な業務そのものを廃止し、教員が子どもと向き合う時間を確保する視点が重要。
部活動の地域展開については、様々な課題を整理し、家庭状況によって参加機会に差が生じない仕組みを整える必要がある。